

1 丁目長寿会 40年の歩み

会長 上杉 伸二

昭和59年7月会員31名で発足しスタート。その後、諸先輩の努力により、昭和60年に高崎市長寿会連合会及び寺尾地区長寿会連合会に結成届け及び加入手続きを済ませ、令和4年4月現在会員数は32名に達しています。日本は今世界に類の無い超高齢社会に突入しており、高齢者を取り巻く環境は大きく変化してきております。このような状況下、長寿会の果たす役割はますます重要になってくると思います。

長寿会の目的

全国3大運動である「健康・友愛・奉仕」を柱にお互い励まし助け合い、常に心身の健康を保ち、教養を高めながら、より明るい生活をおくり悔いの無い人生を全うする。

40年間の活動の歩み

- ①教育の向上→各種研修会・長寿会教室への参加
- ②健康増進→各種スポーツ大会への参加
- ③ボランティア活動→ミニ花壇及び北公園の清掃、友愛募金活動
- ④親睦・趣味・娯楽活動→新年会・芸能発表会・日帰り旅行・お茶会
- ⑤地域社会との交流活動→夏まつり→どんどこ焼き
- ⑥会議その他→定期総会・毎月役員会・敬老の日に会員全員に赤飯贈呈

今後の活動

高齢者が、生活を豊かにし、健康で生き活きと安心して暮らしていける町にしたいと会員一同頑張っています。

特に「交流」「楽しい長寿会」を念頭に、お茶のみ会、日帰り旅行、公園掃除、町内の様々なイベントに積極的に参加して頂き、「閉じこもり」「社会的孤立」を防止できるよう活動していきたいと思っています。



2 丁目長寿会 40年の歩み

会長 山田 知秀

昭和59年4月、会員10名により設立準備会会則が審議され設立されて、同時に高崎市長寿会連合会への結成届け、寺尾地区長寿会連合会への加入手続きを済ませました。会員数、平均年齢の移り変わりは、発足時（昭和59年）31名平均年齢不明、29年目（平成24年）55名78歳、39年目（令和4年）52名80歳と年々高齢化しています。人生100歳時代と言われています。第2の人生を如何に有意義に過ごすかが課題です。一人一人それぞれの目標に向かって充実した毎を送りたいと思います。

40年間の活動の歩み

（スポーツ活動）グラウンドゴルフは活発で、平成27年、城(2)寺尾(1)(2)連合チーム団体戦男女3名による県大会において優勝する。更に翌、平成28年大会では準優勝に輝くのである。優勝カップ賞状は寺尾公民館に保管。又県長寿会スポーツ大会では入賞を目指し、球入れ、球運び競技の練習も行いました。

（親睦、趣味、娯楽活動）新年会、花見会、忘年会で女性会員の活躍で手づくりの料理でおおいに盛り上がりました。春秋旅行も行い、日典ラサの協力で「小川知子」ディナーショーでは男性会員は盛り上がったものです。

（ボランティア活動）地域の環境美化奉仕は町内会とも協力し花を植えたりその保護をし、東公園の清掃は年4回行い、友愛募金、一人住まいの人への見舞金支給、城山小児童ともふれあいながら、パトロールもしております。

（会議その他）役員会の各種研究会、高齢者生涯学習教室、通常総会、役員会毎月。令和2年、3年コロナウイルスの為、上記活動をほとんど中止せざるを得ない状況になりましたが、できるだけ密を避けて今後も活動をしていきたいと思っています。

